

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									
Q-1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1 暗騒音レベル									
2 機械騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温設定									
2 機械空調・遠隔制御性									
3 外皮性能									
4 ゾーン別制御性									
5 断熱・遮熱対策									
6 換気制御									
7 時間・空間・気候に対する配慮									
8 監視システム									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 照明器具のグレア									
2 昼光制御									
3.3 照度									
1 照度									
2 照度均斉度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学物質汚染									
2 臭気対策									
3 大気汚染									
4 レゾナンス対策									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4 給気計画									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q-2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
1 耐震性									
2 免震・制振性能									
2.2 部品・部材の耐用年数									
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔									
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									
3 配管・配線材の更新必要間隔									
4 主要設備機器の更新必要間隔									
2.3 適切な更新									
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新									
2 配管・配線材の更新									
3 主要設備機器の更新									
2.4 信頼性									
1 空調・換気設備									
2 給排水・衛生設備									
3 電気設備									
4 機械・配管支持方法									
5 通信・情報設備									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					3.0	0.29	3.4	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり					4.2	0.07	3.8	0.50	
1 階高のゆとり				(事)3.9m ≤ 基準階階高:4.0m、(住)階高:3.0m ≤ 基準階階高:3.3	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.07	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	0.86	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	1.6
1 生物環境の保全と創出		G			1.0	0.40	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			2.0	0.20	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.0	0.40	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	0.40	-	-	3.0
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.5
1 建物の熱負荷抑制	W			(事)BPIm=0.88	3.2	0.38	-	-	3.2
2 自然エネルギー利用					2.6	0.20	-	-	2.6
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				2.2	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			(住)高効率照明器具、自然冷媒ヒートポンプ給湯機	4.6	0.38	-	-	4.5
4 効率的運用					3.0	0.04	-	-	3.0
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水	W				3.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					3.0	0.85	-	-	3.0
2.1 資源の再利用効率					2.3	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W			躯体と仕上げ材が容易に分別可能。OAフロアの採用	5.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.0	0.18	-	-	
1 消火剤	W				-	-	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.50	-	-	
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.4
1 大気汚染防止	W			燃焼機器を使用していない	5.0	0.11	-	-	5.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.06	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	1.00	-	-	
2.2 振動					-	-	-	-	
2.3 悪臭					-	-	-	-	
3 風害、日照障害の抑制					3.0	0.10	-	-	3.0
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				屋外広告照明なし、外壁によるグレアの影響なし	4.0	0.05	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制					2.4	0.38	-	-	2.4
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制					2.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		2.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅	事務所	-	-	面積按分 総合スコア
		1,632 m ²	454 m ²	-	-	
1 建物の熱負荷抑制		3.0	4.0	-	-	3.2
3 設備システムの高効率化		5.0	3.0	2.0	-	4.564717162
3.2 換気設備		-	-	-	-	-
3.3 照明設備		6.0	-	-	-	-
3.4 給湯設備		6.0	-	-	-	-
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	-